第 21 回通常総会資料

１、日　時　　令和５年５月７日(日)10 時開会

２、会　場　　サーフビレッジ多目的ホール

　　神奈川県藤沢市鵠沼海岸 1-17-3

３、式次第

①　開会の辞

②　議長選出

③　議　案

第１号議案　令和４年度事業報告（案）承認に関する件

第２号議案　令和４年度会計報告（案）承認に関する件　（当日掲示）

第３号議案　令和４年度監査報告に関する件（当日掲示）

第４号議案　令和５年度事業計画（案）承認に関する件

第５号議案　令和５年度予算書（案）承認に関する件　**（当日掲示）**

その他

④　議長解任

⑤　閉会の辞

特定非営利活動法人

西浜サーフライフセービングクラブ

第１号議案

令　和　4　年　度　事　業　報　告　書

自：令和４年４月１日　至：令和５年３月31日

特定非営利活動法人
西浜サーフライフセービングクラブ

① 夏季海水浴場等における監視・救助活動事業（パトロール事業）　6,085,769円

１．夏季監視救助活動（西浜海岸、東浜海岸、江ノ島岩屋その他）
　7月（753名）、8月（1,024名）、延1,777名
２．ライフガードテスト・夏季ガード顔合わせ・夏季準備の実施・パトロール審査会参加
３．各種訓練（症例検討会の開催・チーフ研修会、スキルアップ講習会、勉強会、シーズン直前シミュレーション）

② 水辺の各種スポーツイベントを安全面から支援し振興を図る事業（イベントパトロール事業）
2,098,460円

１．イベント等の監視救助活動‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥KLA神奈川選手権：湯河原(5月)25名
サーフヒーローズ（ライフセービング大会）：関東各地(5月～1月)40名
トライアスロン：日産追浜工場、横須賀(6月)30名
大磯OWS：(6月）1名
JLA南関東予選：(9月)25名
JLA全日本選手権：西浜(10月)40名
２．サーフビレッジ資器材整備・清掃
３．IRB・PWC練習会‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥毎月開催（11～3月）延60名
４．シーバード西浜‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥横浜ボートショー桟橋警備：横浜（4月）延20名
シーバードJETカレッジ:仙台（10月）3名
５．船舶免許取得の推進、IRB普及に向けた競技会への参加

③ ライフセービング活動による水辺の安全、教育事業（ジュニアユース事業）　11,379,976円

１．年間ジュニアユースプログラムの開催‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥基本的に月２回 延50名
夏期合宿（8月）中止
特別活動 延35名
夏季短期プログラム 未実施
各種ジュニアライフセーバー教室の開催（1日体験）：（8月）中止
２．ライフセービングプログラムの開催‥‥‥未就学児(10月)中止、知的障害者等を対象(11月)中止
３．ジュニアユース保護者対象プログラム
‥‥‥‥‥‥護者会の開催(12月)70名，資格取得サポート等(1月)中止
４．各種大会、藤沢市協働事業　(5月、9月)延50名

④ 海岸等に関する環境保全活動及び地元地域を繋げる事業（環境イベント事業）　210,288円

１．ビーチクリーン・殿網清掃の開催‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥毎月第２日曜日　計12開催
（4.5.6.7.8.9.10.11.12.1.2.3月）延参加人数：約400名（集合写真より算出）

２．オーシャンクリーンの開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2 回開催(4,7 月) 延 50 名
３．内部イベントの開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・通常総会・春のクラブ会(4 月)
夏クラブ会の開催(8 月)中止
サンセットビーチクリーン(7,8 月)
秋のクラブ会：西浜カップ(10 月)BBQ はコロナ禍で中止
４．外部イベントの開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・西浜区町内会　地引網(9 月)➡未実施
新春餅つき大会「冬のクラブ会」山本公園(1 月) 延 400 名
※感染症拡大防止及び荒天のため、中止とさせていただいたイベントが多数ありました。
５．広報活動（SNS）随時実施

⑤ ライフセービングスポーツに関する事業（スポーツ推進事業）　2,980,727 円
１．ライフセービング競技会への参加
全日本プール選手権、全日本選手権、全日本 SERC 千葉県、JUM 選手権、その他地域大会
延 300 名
２．練習会及び合宿の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・練習会（オーシャン、ビーチ、プール）(通年)
ライフガードテスト(4 月～8 月)
マスターズ練習会(通年)
アクラブ朝練(通年)
延べ 500 名
３．クラブ員交流イベントの開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・西浜カップ(10 月) 延 200 名
西浜合宿(3 月)
４．JLA ハイパフォーマンスプログラム強化指定選手エントリー　(10 名)

⑥ ライフセービングの資格講習会及び安全指導に関する事業（育成事業）　701,564 円
１．JLA Academy 資格講習会開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ﾍﾞｰｼｯｸ①7 月 19 名②8 月 24 名・BLS
①6 月 5 名②6 月 16 名・WS 6 月 17 名 8 月 1 名・ｻﾎﾟｰﾀｰ 5 月・更新 2 月 3 月 8 回開催
２．NISHIHAMA learning の開催・・・・・・・
クラブ員同士の学び合い場（勉強会）BLS・Rescue・リペア Learning
コロナ禍感染防止のため全て中止

その他、管理部門〈事務局など〉　5,987,600 円
・ JLA・KLA 主催パトロール報告・総会への参加
・ JLA への役員・専門委員の派遣
・ 各種関連会議への参加
・ 地域イベントへの参加
・ クラブスポンサー獲得へ向けての渉外活動
・ クラブ内外へ向けての情報発信（HP・FB・パンフレット等）
・ 会員・会計・器材の管理
・ 理事会開催(月 1 回の定例会)

以　上

第2号議案　令和4年度会計報告

貸　借　対　照　表

令和 5年　3月 31日現在

特定非営利活動法人西浜ｻｰﾌﾗｲﾌｾｰﾋﾞﾝｸﾞｸﾗﾌﾞ　　（単位:円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ資産の部			
1.流動資産			
現金	127,739		
小口現金	480,070		
当座預金	4,727,571		
普通預金	2,978,122		
普通預金	5,665,562		
普通預金	4,859,968		
普通預金	447,944		
未収入金	984,100		
前払費用	360,000		
流動資産合計		20,631,076	
2.固定資産			
(1)有形固定資産			
造作	724,372		
機械装置	650,420		
船舶	619,345		
車両運搬具	215,625		
器具備品	34,483		
有形固定資産計	2,244,245		
固定資産合計		2,244,245	
資産合計			22,875,321
Ⅱ負債の部			
1.流動負債			
未払金	1,045,536		
預り金	4,593		
流動負債合計		1,050,129	

科　　目	金　　額		
2.固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			1,050,129
Ⅲ正味財産の部			
前期繰越正味財産		24,217,063	
当期正味財産増減額		△ 2,391,871	
正味財産合計			21,825,192
負債及び正味財産合計			22,875,321

活動計算書

令和 4年 4月 1日 から 令和 5年 3月 31日 まで

特定非営利活動法人西浜ｻｰﾌﾗｲﾌｾｰﾋﾞﾝｸﾞｸﾗﾌﾞ　　（単位:円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ経常収益			
1. 受取会費			
正会員	378,000		
一般会員	925,000		
高校生会員	90,000	1,393,000	
2. 受取寄附金		421,000	
3. 受取助成金等		95,380	
4. 事業収益			
ﾊﾟﾄﾛｰﾙ委員会	9,999,603		
ｲﾍﾞﾝﾄﾊﾟﾄﾛｰﾙ委員会	2,242,000		
ｼﾞｭﾆｱ・ﾕｰｽ委員会	9,717,910		
育成委員会	795,064		
ｽﾎﾟｰﾂ推進委員会	1,137,835		
環境ｲﾍﾞﾝﾄ委員会	23,100	23,915,512	
5. その他収益			
受取利息	121		
その他	1,227,500	1,227,621	
経常収益計			27,052,513
Ⅱ経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	9,831,500		
福利厚生費	1,255,623		
人件費計	11,087,123		
(2)その他経費			
諸管理費	1,091,020		
物品購入費	1,926,015		

科　　目	金　　額		
通信費	230,602		
水道光熱費	7,520		
消耗品費	3,675,805		
修繕費	1,358,053		
保険料	279,120		
支払家賃	180,000		
燃料費	403,022		
交際接待費	27,798		
賃借料	1,377,114		
旅費交通費	1,164,772		
雑費	648,820		
その他経費計	12,369,661		
事業費計		23,456,784	
2. 管理費			
(1)人件費			
給料手当	600,000		
福利厚生費	522,241		
人件費計	1,122,241		
(2)その他経費			
旅費交通費	52,000		
通信費	37,341		
水道光熱費	813,976		
修繕費	81,300		
保険料	64,935		
租税公課	1,013,800		
支払家賃	720,000		

科　　目	金　　額		
減価償却費	1,129,261		
顧問報酬	385,000		
事務費	95,970		
登録料	60,000		
雑費	411,776		
その他経費計	4,865,359		
管理費計		5,987,600	
経常費用計			29,444,384
当期経常増減額			△ 2,391,871
Ⅲ経常外収益			
経常外収益計			0
Ⅳ経常外費用			
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			△ 2,391,871
前期繰越正味財産額			24,217,063
次期繰越正味財産額			21,825,192

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日　2017年12月12日最終改正　NPO法人会計基準協議会）によっています。同基準では、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

(1) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて以下のとおり償却をしています。
建物付属設備･･･定額法、定率法
機械装置･･･定率法
船舶･･･定率法
車両運搬具･･･定率法
器具備品･･･旧定率法、定率法

(2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業費の内訳

（単位：円）

科目	パトロール事業	イベントパトロール事業	ジュニアユース事業	環境イベント事業	スポーツ推進事業	育成事業	事業部門計	管理部門	合計
Ⅰ　経常収益									
1.受取会費								1,393,000	1,393,000
2.受取寄附金								421,000	421,000
3.受取助成金等								95,380	95,380
4.事業収益	9,999,603	2,242,000	9,717,910	23,100	1,137,835	795,064	23,915,512		23,915,512
5.その他収益	416,000	170,500			4,000		590,500	637,121	1,227,621
経常収益計	10,415,603	2,412,500	9,717,910	23,100	1,141,835	795,064	24,506,012	2,546,501	27,052,513
Ⅱ　経常費用									
(1) 人件費									
給料手当		763,500	7,919,500		592,000	556,500	9,831,500	600,000	10,431,500
福利厚生費	713,369	83,230	243,029	157,401	24,637	33,957	1,255,623	522,241	1,777,864
人件費計	713,369	846,730	8,162,529	157,401	616,637	590,457	11,087,123	1,122,241	12,209,364
(2) その他経費									
諸管理費	1,091,020						1,091,020		1,091,020
物品購入費			1,213,068		712,947		1,926,015		1,926,015
通信費	190,942	2,182	34,038	84	1,482	1,874	230,602	37,341	267,943
水道光熱費	7,520						7,520	813,976	821,496
消耗品費	2,100,934	312,868	1,154,839	21,396	64,298	21,470	3,675,805		3,675,805
修繕費	1,070,320	275,477	11,378	878			1,358,053	81,300	1,439,353
保険料	166,990	112,130					279,120	64,935	344,055
租税公課							0	1,013,800	1,013,800
交際接待費	4,980	5,202	7,240	5,205	2,171	3,000	27,798		27,798
科目	パトロール事業	イベントパトロール事業	ジュニアユース事業	環境イベント事業	スポーツ推進事業	育成事業	事業部門計	管理部門	合計
支払家賃	180,000						180,000	720,000	900,000
減価償却費								1,129,261	1,129,261
燃料費	56,950	197,882	61,943		66,807	19,440	403,022		403,022
賃借料	69,664	112,640	129,895		1,060,015	4,900	1,377,114		1,377,114
顧問報酬								385,000	385,000
事務費								95,970	95,970
登録料								60,000	60,000
旅費交通費	194,568	163,137	429,496	22,248	296,010	59,313	1,164,772	52,000	1,216,772
寄付金							0		0
雑費	238,512	70,212	175,550	3,076	160,360	1,110	648,820	411,776	1,060,596
その他経費計	5,372,400	1,251,730	3,217,447	52,887	2,364,090	111,107	12,369,661	4,865,359	17,235,020
経常費用計	6,085,769	2,098,460	11,379,976	210,288	2,980,727	701,564	23,456,784	5,987,600	29,444,384
当期経常増減額	4,329,834	314,040	△ 1,662,066	△ 187,188	△ 1,838,892	93,500	1,049,228	△ 3,441,099	△ 2,391,871

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は21,825,192円ですが、そのうち4,000,000円はサーフボート購入、サーフボート輸入輸送費、周年記念事業及びワールドマスターズゲームス海外大会等遠征に使用される財産です。したがって、使途が制約されていない正味財産は17,825,192円です。

内容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額	備考
サーフボート積立金	1,000,000	0	0	1,000,000	サーフボート購入のための積立金
ｻｰﾌﾎﾞｰﾄ輸入輸送費積立金	400,000	0	0	400,000	サーフボート輸入輸送費積立金
周年記念事業積立金	1,800,000	200,000	0	2,000,000	周年記念事業を行うための積立金
ワールドマスターズゲームス海外大会等遠征積立金	450,000	150,000	0	600,000	ワールドマスターズゲームス海外大会等遠征積立金
合計	3,650,000	350,000	0	4,000,000	

4. 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
建物付属設備	3,758,888	0	0	3,758,888	3,034,516	724,372
機械装置	0	713,570	0	713,570	63,150	650,420
船舶	2,987,512	0	0	2,987,512	2,368,167	619,345
車両運搬具	1,150,000	0	0	1,150,000	934,375	215,625
器具備品	766,850	0	0	766,850	732,367	34,483
合計	8,663,250	713,570	0	9,376,820	7,132,575	2,244,245

財　産　目　録

令和 5年 3月 31日

摘　要	内　訳		金　額
資　産			
（流動資産）			
現　金	手許残高		127,739
小口現金	パトロール委員会	123,813	
	イベントパトロール委員会	138,913	
	ジュニア・ユース委員会	98,863	
	育成委員会	11,582	
	スポーツ推進委員会	55,801	
	環境イベント委員会	51,098	480,070
当座預金	日本郵政公社	4,727,571	4,727,571
普通預金	横浜銀行　片瀬支店	2,978,122	
	日本郵政公社	5,665,562	
	横浜銀行　片瀬支店	4,859,968	
	住信SBIネット銀行	447,944	13,951,596
未収入金	ジュニア・ユース会費2月・3月分		984,100
前払費用	家賃4月～9月分		360,000
	（流動資産計）		20,631,076
（固定資産）			
造　作	シャワー室他	1	
	艇庫屋根	1	
	トイレ他防水工事	414,720	
	シャワー工事	309,650	724,372
機械装置	船外機		650,420
船　舶	IRB　船舶	1	
	IRB　船舶	619,344	619,345
車両運搬具	四輪バギー		215,625
器具備品	パソコン一式	1	
	トレーニング機器	34,482	34,483
	（固定資産計）		2,244,245
	資産合計		22,875,321
負　債			
（流動負債）			
未払金	給料・賃金3月分		1,045,536
預り金	源泉所得税		4,593
	（流動負債計）		1,050,129
	負債合計		1,050,129
	正味財産		21,825,192

第 3 号議案

特定非営利活動法人　西浜サーフライフセービングクラブ
第 21 回　通常総会議長　殿

令和 4 年度会計監査報告書

令和 4 年度会計報告書につきまして監査した結果、適正かつ公正に処理されておりましたので、ここにご報告いたします。

令和 5 年 5 月 7 日

特定非営利活動法人
西浜サーフライフセービングクラブ

監 事　宮 野　実

第 4 号議案

令 和 5 年 度 事 業 計 画 書

自：令和 5 年 4 月 1 日　至：令和 6 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人
西浜サーフライフセービングクラブ

① 夏季海水浴場等における監視・救助活動事業（パトロール事業）　3,290,000 円

1．夏季監視救助活動（西浜海岸、東浜海岸、江ノ島岩屋その他）
2．ライフガードテスト 4 月～・夏季ガード顔合わせ 6 月・夏季準備の実施 6 月・パトロール審査会参加 11 月
3．各種訓練（チーフ研修会 11 月～翌 6 月、症例検討会・勉強会 2 月 3 月、リクルート関連活動 3 月～、スキルアップ講習会・通年、シーズン直前シミュレーション 5 月）

② 水辺の各種スポーツイベントを安全面から支援し振興を図る事業（イベントパトロール事業）　2,056,000 円

1．イベント等の監視救助活動……KLA 神奈川選手権：湯河原(5 月)
サーフヒーローズ：関東各地(4 月 5 月 6 月)
トライアスロン：追浜(受託見送り)
神奈川県 LS 競技会(5 月)
東伊豆チャレンジ:伊豆(5 月)
湘南 OWS 2022 スイムツアー：東浜(8 月)
JLA 南関東予選：未定(9 月)
JLA 全日本選手権：西浜(10 月)
2．サーフビレッジ資器材整備・清掃
3．IRB・PWC 練習会、国内大会参加、2024LWC にチーム派遣……毎月開催
4．シーバード西浜……横浜ボートショー桟橋警備：横浜（4 月）
シーバード JET カレッジ:場所未定（12 月）
海上保安庁との合同訓練：調整中(12 月)
5．船舶免許取得の推進、IRB 普及に向けた競技会への参加

③ ライフセービング活動による水辺の安全、教育事業（ジュニアユース事業）　11,359,200 円

1．年間ジュニアユースプログラムの開催……基本的に月 2 回
夏季短期プログラム
各種ジュニアライフセーバー教室の開催（1 日体験）
2．ライフセービングプログラムの開催……未就学児、知的障害者等を対象
3．ジュニアユース保護者対象プログラム……保護者会の開催，資格取得サポート等
4．各種大会、藤沢市協働事業

④ 海岸等に関する環境保全活動及び地元地域を繋げる事業（環境イベント事業）　790,000 円

１．ビーチクリーン・殿網清掃の開催……毎月第 2 日曜日　計 12 開催
２．オーシャンクリーンの開催……2 回開催(4,11 月)
３．内部イベントの開催……通常総会・春のクラブ会(4 月)
夏クラブ会の開催(8 月)
秋のクラブ会：西浜カップ(10 月)
４．外部イベントの開催……西浜区町内会　地引網(9 月)
新春餅つき大会「冬のクラブ会」山本公園(1 月)

⑤ ライフセービングスポーツに関する事業（スポーツ推進事業）　3,520,500 円

１．ライフセービング競技会への参加
２．練習会及び合宿の開催……練習会（オーシャン、ビーチ、プール）(通年)
ライフガードテスト(4 月～8 月)
マスターズ練習会(通年)
アクラブ朝練(通年)
３．クラブ員交流イベントの開催……西浜カップ(10 月)
西浜合宿(2 月 or3 月)
４．JLA ハイパフォーマンスプログラム強化指定選手エントリー

⑥ ライフセービングの資格講習会及び安全指導に関する事業（育成事業）　788,000 円

１．JLA Academy 資格講習会開催……ﾍﾞｰｼｯｸ・BLS・更新・WS・ｻﾎﾟｰﾀｰ
２．NISHIHAMA learning の開催……クラブ員同士の学び合い場(勉強会)
BLS・Rescue・リペア Learning・ジュニア保護者対象・サポーター講習会

その他、管理部門〈事務局など〉　6,573,600 円

- JLA・KLA 主催パトロール報告・総会への参加
- JLA への役員・専門委員の派遣
- 各種関連会議への参加
- 地域イベントへの参加
- クラブスポンサー獲得へ向けての渉外活動
- クラブ内外へ向けての情報発信（HP・FB やインスタ等の各種 SNS パンフレット等）
- 会員・会計・器材の管理
- 理事会開催（月 1 回の定例会）

以　上

別紙　第4号議案_事業計画書　各委員会活動計画

2023年度　パトロール委員会　活動内容

目標：～Restart～

2023年度　パトロール委員会　活動内容
目標「Restart」
① 2023年度「無事故」を最終目標に設定
→2022年度に発生した2件の事故から学びを、必ず無事故に繋げます。委員会一眼になってキャプテンをサポートし、チームの総合力向上をはかります。
② 委員会で想いを共有し組織の団結力向上
→理事、委員長、副委員長から委員会メンバーに対し積極的にコミニケションをとり、委員会メンバー一人一人が活躍出来る環境を整備します。
③ 今後の西浜を担う人材の確保
→今後のクラブを構築していくユース、大学生、新社会人のリクルートを強化します。
④ チーム全体のライフガードスキル向上
→症例検討会､勉強会､チーフ研修会､シミュレーションといった従来取り組んでいた内容を見直し。質と量にこだわりを持ち取り組みます。
⑤ パトロール環境の改善
→過酷なライフガード環境を改善し､パトロールに集中できるように、日本一の環境作りに取り組みます。
⑥ 新規プロジェクトの立ち上げ支援
→オフシーズンに取り組んでいる行事＋αで新しいことに挑戦します。
⑦ 他の委員会と協力した、人材の育成、クラブ運営
→年間を通して海に集まり、ライフセービングを楽しめるよう、各委員会と協力します。
⑧ 地域に愛されるパトロール文化の醸成
→パトロールを通して自治体や各種組合と協力し､地域に求められるライフガード組織を目指します。

1．夏季・片瀬西浜・東浜海岸におけるライフガード活動

内　容：

場所：片瀬東浜海水浴場、片瀬西浜・鵠沼海水浴場、江ノ島岩屋（海水浴場開設時）

参加者：クラブ員

- 海岸に訪れる老若男女、一人一人に安全で楽しい海水浴場を提供し、海浜での事故を出来る限り未然に防止する。
- 藤沢市・海水浴場組合と連携を取り、より良い環境作りに努める。
- 警察・消防・海上保安庁との相互理解を深め、パトロールの連携、災害時の協力体制を構築する。
- 県下のLSCと連携を取り、神奈川県下の海水浴場の安全強化を図る。
- 地域社会と相互に人材供給を行い災害時の協力体制を構築する。
- 生と死を常に意識する状態の下で活動を共にすることで真の仲間（家族）を作る。

2．ライフガード活動実施に向けた準備と育成

○チーフ研修会	11～6月開催予定
○症例検討会、勉強会	2月,3月開催予定
○新歓	3月～開催予定
○ライフガードテスト	4月～開始予定
○シーズン直前シミュレーション	5月開催予定
○顔合わせ	6月初旬で調整中
○夏季準備	6月の週末で実施予定
○パトロール審査会	11月参加予定
○スキルアップ講習会	通年での不定期開催

2023 年度　イベントパトロール委員会 活動計画

【活動要旨】
当委員会では定着と組織強化をキーワードに、次世代に繋がる組織作りと人材育成を目指します。また、各イベント単位で中心となるメンバーを育成し、継続的に西浜メンバーが主体でイベント運営を行う。さらにイベント運営マニュアルを構築し、活躍の幅を広げる。
2023 度も継続し取り組むテーマは以下の 3 つ

A、 イベント運営ノウハウの蓄積と継承
B、 地域スポーツイベントの定着と拡大
C、 各委員会との連携強化、現場パトロール力の向上

◆は実施確定　◇は予定のイベント

A.イベント運営ノウハウの蓄積と継承

·全日本選手権の独自運営のための組織向上
·各イベントのマニュアル構築
·イベント単位でのリーダ格人材の育成
·若手メンバーの参加率向上
·学年別、経験値別の到達度目標設定

＜イベント予定＞　＊日程は調整中
◆サーフヒローズ 4/23.4/30.5/14.6/18
◆KLA　神奈川県 LS 競技会　5/22.23
◆JLA　全日本南関東予選　9/10～11
◆JLA　全日本選手権　10/8～9

B. 地域スポーツイベントの定着と拡大

·地域団体との関係の積極的深更、定着化
·他団体からの西浜 LS 活動の引き込み
·定期的収入の獲得
·社会人メンバーの活動場所の提供
·パトロール以外のライフガード力の向上

＜イベント予定＞　＊日程は調整中
◆横浜ボートショウ　3/31～4/3
◆東伊豆チャレンジ　5/28
◆追浜トライアスロン　6/11
◆湘南 OWS　8/28

C.各委員会との連携強化、現場パトロール力の向上

·パワークラフトに対する知識/技術の向上(練習会の提供)
·パワークラフトステーションの定着(パトロール委員会との連携)
·該当分野での県内他クラブとの交流(合同訓練など)
·海上保安庁との関係強化
·船舶免許取得の推進
·シーバード西浜の運営力強化
·IRB 普及に向けた中期計画の推進（2023 国内大会優勝、2024LWC に派遣）

＜イベント予定＞
◆春のオーシャンクリーン　4 月下旬
◆秋のオーシャンクリーン　11 月下旬
◆IRB·PWC 定期練習　11 月 - 3 月

2023 年　5 月

2023 年度　ジュニア･ユース委員会　活動内容

【活動目標】

・ライフセービング教育を通じ、水辺の安全教育普及や青少年の健全な成長を促す。
・ジュニア・ユースメンバーが、卒業後も様々なライフセービング活動を継続的、自主的に行えるように、活動方法などの提供をしていく。
・様々な人にライフセービングを通して、海の楽しさを知ってもらう。
・ジュニア・ユースに関わる保護者のプログラムへのサポートやクラブへの理解、協力を深める。

１、ジュニア・ユースプログラムの開催

『自分の命を自分で守れるジュニア・ユースライフセーバーを育成する』

・小学生から高校 3 年生を対象にジュニア・ユースプログラムを毎月第 2、4 日曜日行う。
・合同練習を行うなどして、他クラブと交流を図り、日本のジュニア・ユースライフセービングを盛り上げていく。
・子ども会、企業などを対象にジュニア・ユースライフセーバー教室 1 日体験プログラムを行う。学校訪問も含めて、団体ごとに希望の日程、内容に合わせて行う。

２、地域に根差した教育活動の開催

『藤沢市内の子どもたちに海の楽しさを伝え、安全教育を行う。』

・学校訪問を行い、地域に根差した水辺の安全教育を展開する。また、心の教育や環境への意識を高める指導を行う。（藤沢市協働事業）
・日程：6～9 月　（予定）

３、様々な人に海の楽しさを知ってもらう

『知的障害がある子どもや幼児等を対象にライフセービングプログラムを行い、海の楽しさやライフセービング活動を知ってもらう』

・障害の有無に関わらず誰もが楽しむことができ、活動することができるライフセービング活動を行う。幼い時から海辺で安全に楽しく活動できる機会を作る。
・一般小学生や海水浴客の子どもたちを対象とした、半日ライフセービング体験プログラムを開催する。
・日程：8 月～3 月　（予定）

４、保護者の方も関わりやすいクラブ作り

『保護者の方々が、積極的にライフセービング活動に携わることができる機会を作る』

・保護者の方々にクラブの活動を理解していただき、主体的にジュニア・ユースプログラムのサポートに参加してもらえるよう、保護者対象のサポーター講習会を開催する。また、子どもが卒業した後も、保護者自らが西浜のクラブ会員として組織に携わってもらえるよう情報提供をする。

2023 年 5 月

2023 年度　環境イベント委員会　活動内容

目的：環境保全に関する事業・催事に関する事業

① 私たちのホームビーチづくり～ポイ捨てのない海づくり～
- ライフセーバーの存在を、お客さんにより認知してもらう活動をする（知名度向上）
  →パトロールユニフォームの活用・オリジナルＴシャツを活用
  →SNS・映像等を活用して、広報活動を実施

② クラブ員がクラブ事業に参加する企画づくり
- 気軽に出来るビーチクリーン活動の実施
  →パトロール期間中（１６時ごろから）ビーチクリーンを行う
  →参加して楽しめるグッズの配信

③ 環境問題への関心を深める
- ビーチクリーン活動で拾ったゴミを追求する

１.ビーチクリーンの開催

日　時：毎月第 2 日曜日　9:30～11:00
場　所：片瀬西浜海水浴場ボードウォーク前砂浜
参加者：クラブ員及び一般市民
内　容：ビーチクリーンを通じ環境保全に
　　務め、地域社会との交流を図る

２.クラブハウス（殿網）清掃の開催

日　時：随時
場　所：クラブハウス（殿網）
参加者：クラブ員

２.江ノ島オーシャンクリーンの開催

日　時：4 月・11 月第 3 日曜日
　　4/17・11/20(日曜日)　9:00～11:30
※中止の場合、翌月の第三日曜日に実施
場　所：江ノ島岩場
参加者：クラブ員及び一般市民
参加条件：ボードやカヌーなどの器材を使って
　　江ノ島までパドルをできる
集　合：クラブハウス（殿網前）
内　容：ゴミの吹き溜まりになりやすい江ノ島の岩場の清掃
その他、境川・引地川などの清掃活動も計画する予定。
※詳細は随時お知らせします。

３.内部イベントの開催

目　的：クラブ内のコミュニケーション・交流のため
内　容：
5 月　総会・「春のクラブ会」（ビレッジ）
8 月　「夏のクラブ会」
10 月　西浜カップ「秋のクラブ会」
12 月　大掃除（殿網、ビレッジ）
1 月　「冬のクラブ会」（山本公園）
毎月　ビーチクリーン後　殿網清掃
その他、適宜計画予定。
※随時　委員会内でミーティングなどを実施。

４.外部イベントの開催

目　的：他クラブ・地域との連携のため
内　容：
9 月　西浜町町内会　地引網
1 月　新春餅つき大会「冬のクラブ会」
　　（山本公園）
その他、適宜計画予定。

2023 年度　スポーツ推進事業計画

２０２３年度　目標

・クラブ員の競技力のボトムアップを図り、全日本総合優勝を目指す。また、全日本シリーズ年間優勝を目指す。

・ライフセービングスポーツを選手としてだけではなく、審判員や、生涯スポーツとしてクラブ員が楽しめる環境づくりをする。

・2024 年に行われる LWC ライフセービング選手権大会にクラブとして、世代を問わず多くのクラブ員が参加できるように準備をする。

１．競技会への選手派遣

〇JLA 主催

・全日本プール競技選手権　・全日本種目別選手権・全日本選手権・全日本 SERC・全日本 IRB 選手権

・マスターズ競技会(ビーチ）・マスターズ競技会（サーフ)・マスターズ競技会（プール)

・ジャパンオープン（プール)

〇KLF 主催

・神奈川県選手権　／神奈川県プール競技選手権

〇その他

・サーフヒーローズ開催場所　未定

・プール記録会等

２．練習会の開催

〇練習会

・定期練習（基本毎週日曜日）ボード、スイム、サーフスキー、ビーチでのラン、プールでのスイム、SERC トレーニングなどを企画します。

・マスターズ練習会(不定期実施）ライフセービングを始めたばかりの初心者や、社会人からライフセービングを始めた方、ブランクがある方を対象に生涯スポーツとしてライフセービングを楽しみ、ライフセーバーに必要な体力や技術の向上、LWC の出場を目指します。

・アクラブ朝練（通年・月・水・金 am5:30～）クラブ員が日常的にトレーニングを行えるように環境を整えていきます。

〇ライフガードテスト

4 月から 8 月　月に 1 回程度　ラン・スイム・ボードとライフセーバーに必要な体力・技術をテストします。パトロール委員・育成委員とも連携して取り組み、レスキュースキルの向上も目指します。

３．西浜合宿の開催

2022 年 2 月 or 3 月開催予定

学生クラブ員が主体となり、体力・技術・知識の向上を目的に行い、競技力向上だけでなくパトロールに繋が内容を取り入れた合宿を開催します。

2023 年 5 月

2023 年度　育成委員会　活動内容

人材育成の要となりライフセーバー同士が高めあえる組織を目指す。
～ライフセーバー共育～

1.方針

・すべての講習会において感染防止対策を徹底していく。

【NISHIHAMA Learning の開催】（クラブ員の学び合いの場の提供）

・年間を通してライフセービングの知識、技術、西浜の精神など全てのクラブ員が共に学び合える場を設ける。

・若いメンバーがインストラクションの楽しさを知り、インストラクター取得に繋げる（スタッフ参加の可視化）

・インストラクターがクラブ員に向けて指導する機会を作り学びの場を増やす。

【JLA　Academy の開催】（有資格者の養成）

・JLA Academy 講習会を開催し、習得度が高いライフセーバー（有資格者）を養成する。

・アドバンスライフセーバーのカリュキュラムを西浜独自で作成し、パトロールに特化した講習会にする。また誰が講習しても内容に変わりないような体制にする。アドバンスを指導できるインストラクターを育成するためインストラクター研修会も実施する。講習会運営をできる者を増やすために研修会も実施検討中

【藤沢市共同事業へインストラクター派遣】

・在籍している優秀なインストラクターを藤沢市共同事業に参加してもらえるような体制を作る。

2.活動内容

ア　NISHIHAMA Learning

BLS Learning 主にビーチクリーン後や練習後の時間を利用[BLS 指導員以上、委員長が認めた者]

※目標：最後に参加者に向けてデモンストレーションを披露し、興味を持ってくれた方に個別指導できるような流れを作る。

Rescue Learning バッジテスト時やレスキュー練（パトロール委員会、スポーツ推進委員会共催）［サーフ指導員、委員長が認めた者］

保護者対象 Learning：5 月・9 月（ジュニアユース委員会と共催）

リペア Learning：12 月

その他：サポーター講習会（アクラブ等２回開催を目標）

イ　JLA Academy

【WS 講習会、BLS 講習会】5 月中に予定

【ベーシックサーフライフセーバー講習会】日時：1 回目 7 月、2 回目 8 月

以下検討中［C 級審判員養成講習会］　［IRB 講習会］［インストラクターのための講習会運営研修会］

ウ　藤沢市協働事業にインストラクター派遣（実施調整中）

「海と命の大切さ」を小学生にわかりやすく伝えるには講習しなれているインストラクターを可能な限り派遣する。誰でもできることではないので質を確保することが藤沢市の安全へと繋がる。指導してくれたインストラクターの時間を集計してクラブ内に公表していく。

3、西浜 SLSC 所属　JLA 指導員

JLA 指導員：植木将人、荒井洋佑、飯塚剛志、石川修平、泉田昌美、中本恵子、入谷拓哉、江泉嘉文、遠藤大哉、風間隆宏、神戸友美、北矢宗志、坂入綾菜、坂本陸、篠岳瑠、園田俊、高木渓太、浜地憲太郎、原伸輔、間根山花子、深山元良、上野凌、坂本真徳、勝部興、山崎敦、鈴木慎一

2023 年 5 月

2023 年度　事務局　活動内容

【活動目標】: 持続可能なクラブ運営の構築

- クラブ員の満足度向上・対外アピール
- 安心安全な宿舎の確保、学生支援
- 会員管理の整備
- 事務局メンバー育成，他クラブとの連携・協力

１、クラブ員の満足度向上・対外アピール

『クラブ員向けの情報発信、活動環境の改善を目指す』

- 情報発信の充実：各種案内の送付、SNS・メーリングリストの活用、クラブ員向け HP の充実
- 器材管理の充実：器材の補修・貸出・グッズ管理販売
- 保険の加入
- 総会・理事会：準備・運営の効率化
- ボランティアポイントの拡充

『クラブのステータスアップを目指す』

- 渉外の充実：契約関係・外部からの依頼対応の効率化
- 外部向け広報の充実：HP 及び FB の管理、パンフレットの作成、総会資料作成、動画広報
- 地元スポンサーとの連携

２、安心安全な宿舎の確保、学生支援

・女性宿舎の維持管理、避難器具の設置
・夏期学生食事代及び交通費支援
・施設管理、サーフボート積立、学生支援のための寄付制度継続　など

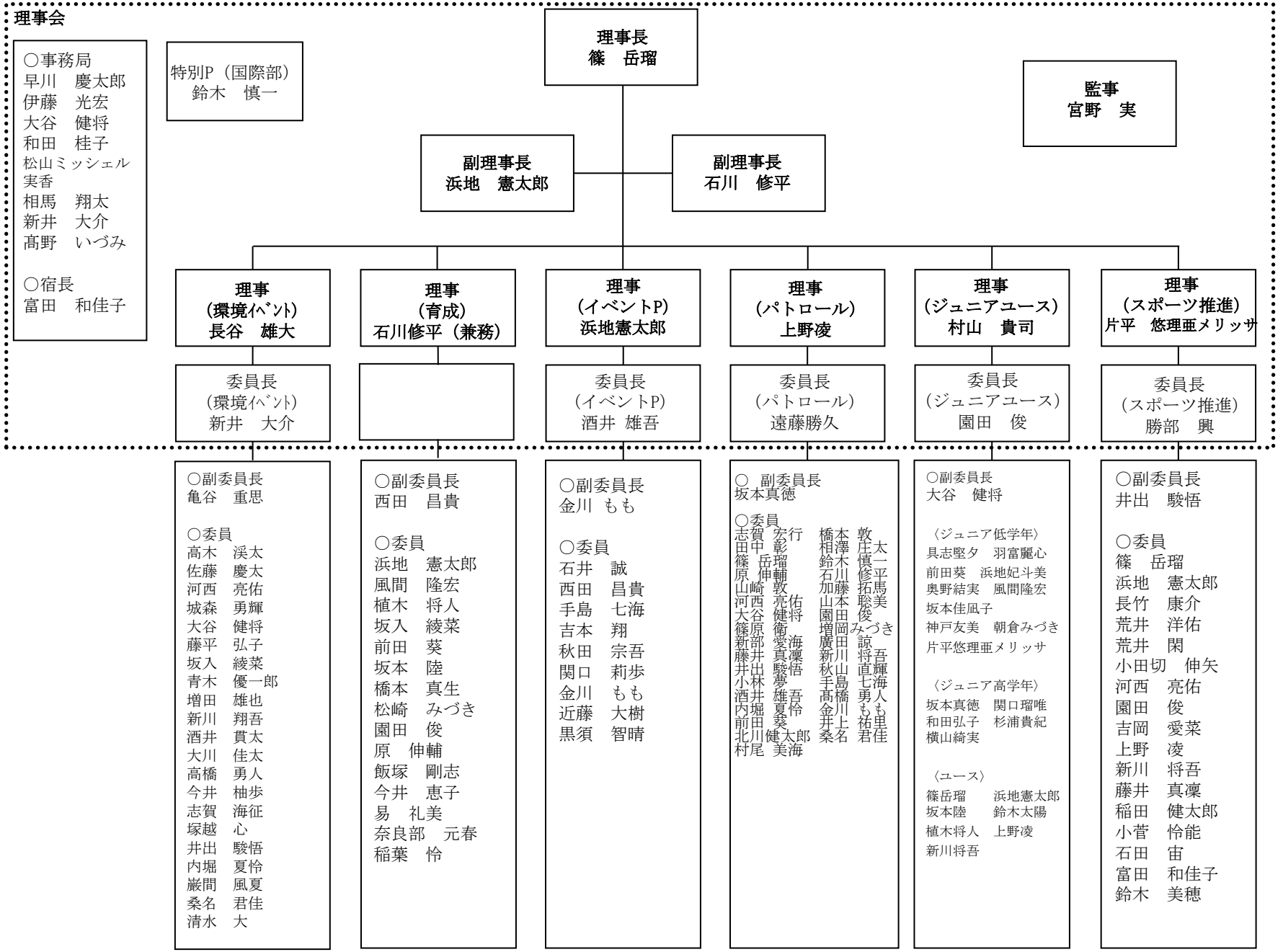
３、会員管理の整備

・名簿管理、会員カード・会員パスポート
・会員・寄付者への情報提供
・JLA-ID の連絡フォロー
など

４、事務局メンバー育成，他クラブとの連携・協力

・事務局メンバーの積極的育成、複数人での作業を目指す
・他クラブの事務局との連携・協力
など

2023年度　特定非営利活動法人西浜サーフライフセービングクラブ組織図



第5号議案

令和5年度（2023年度）活動予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日　　特定非営利活動法人西浜サーフライフセービングクラブ

1.特定非営利活動事業に係る事業会計

科　　目					備　考
		令和4年度	令和5年度		
Ⅰ	収益の部	予算案	予算案	前年予算比	
1	会費収益	1,515,000	1,703,000	112.4%	
	ア.入会金	0	0		平成29年度より入会金0円
	イ.会費（正会員）	392,000	385,000		55名
	ウ.会費（一般会員）	995,000	1,200,000		240名
	エ.会費（高校生会員）	128,000	118,000		ユースプログラム未登録枠 59名
2	事業収益	24,413,013	30,245,583	123.9%	
	①夏季海水浴場等における監視・救助活動事業（パトロール事業）	9,245,613	9,198,183	99.5%	パトロール委員会
	ア.夏季海水浴場における監視・救助活動・マナーアップ事業	8,089,763	7,756,333	95.9%	2021年度より課税事業者を見越して消費税分増額となる
	イ.東浜監視船業務	1,015,850	1,015,850	100.0%	
	ウ.西浜パトロールユニフォーム販売	140,000	426,000	304.3%	ラッシュ・パンツ×各10着　スウィングトップ×22着
	②水辺の各種スポーツイベントを安全面から支援し振興を図る事業（イベントパトロール事業）	1,414,000	2,044,000	144.6%	
	ア.追浜トライアスロン	350,000	350,000	100.0%	受託契約中
	イ.全日本LS選手権	430,000	430,000	100.0%	東日本予選含む
	ウ.湘南オープンウォータースイム	54,000	54,000	100.0%	
	エ.KLA、東伊豆 PWCレンタル費、南関東予選	210,000	700,000	333.3%	5月KLA33.5万、5月東伊豆3万、9月南関東33.5万
	オ.ビレッジ管理	120,000	120,000	100.0%	
	カ.PWC練習会助成金（シーバード）	50,000	100,000	200.0%	シーバード協賛金（笑顔プロジェクト）
	キ.横浜ボートショウ	200,000	200,000	100.0%	
	ク.サーフヒーローズ	0	90,000		IRBレンタル3回
	③ライフセービング活動による水辺の安全、教育事業（ジュニアユース事業）	10,557,400	15,557,400	147.4%	ジュニアユース委員会
	ア.年間ジュニアプログラムの開催事業	1,955,000	1,955,000	100.0%	
	イ.年間ユースプログラムの開催事業	1,804,400	1,644,400	91.1%	
	ウ.ジュニア版西浜カップ	0	300,000		
	エ.ジュニア合宿	250,000	250,000	100.0%	
	オ.ユース合宿	900,000	900,000	100.0%	
	カ.ジュニア特別活動	1,260,000	6,120,000	485.7%	
	キ.ユース特別活動	3,900,000	3,900,000	100.0%	
	ク.知的障害者・幼児プログラム・地域クラブ交流レース	70,000	70,000	100.0%	
	ケ.藤沢市協働事業（ジュニアLS教室）	418,000	418,000	100.0%	
	④海岸等に関する環境保全活動及び地元地域を繋げる事業（環境イベント事業）	490,000	230,000	46.9%	環境イベント委員会
	ア.イベント参加費	460,000	180,000	39.1%	春・夏・秋・冬餅つき参加費
	イ.イベント単独寄付金	30,000	50,000	166.7%	餅つき町内会寄付金、クラブ会・納会寄付金
	⑤ライフセービングスポーツに関する事業（スポーツ推進事業）	1,800,000	2,150,000		スポーツ推進委員会
	ア.スキー・ボードラック代金	0	150,000		
	イ.アクラブ朝練	1,800,000	2,000,000		月5,000円×40人　12か月分
	⑥ライフセービングの資格講習会及び安全指導に関する事業（育成事業）	906,000	1,066,000	117.7%	育成委員会
	ア.更新講習会	225,000	225,000	100.0%	2月、3月に3回実施予定
	イ.BLS講習会	55,000	55,000	100.0%	4月実施予定
	ウ.IRB講習会　クルー、ドライバー	0	160,000		3月実施予定
	エ.サポーター講習会	0	0		ジュニア保護者等、learning 3回実施予定
	オ.WS講習会	26,000	26,000	100.0%	4月実施予定
	カ.BASIC講習会	480,000	480,000	100.0%	6月-7月実施予定
	キ.リーダー講習会	0	0		未開催予定
	ク.アドバンス講習会	120,000	120,000		日程未定、実施予定
	ケ.C級審判講習会	0	0		未開催予定
3	協賛金		0		
4	助成金		0		
5	寄附金	312,000	312,000	100.0%	
7	雑収益	160,000	100,000	62.5%	利息、グッズ代、ラック使用料など
	ア.グッツ代	200,000	100,000	50.0%	ネクタイ販売など
	イ.事務局使用料	0	0		シャワー代、宿代など
	ウ.その他	0	0		
8	単年度収益合計	26,400,013	32,360,583	122.6%	
9	前年度繰越金	24,217,063	21,825,192	90.1%	
10	総収益合計	50,617,076	54,185,775	107.1%	

		令和4年度	令和5年度		
Ⅱ	費用の部	予算案	予算案	前年予算比	
1	事業費	19,237,900	21,803,700	113.3%	
	①夏季海水浴場等における監視・救助活動事業（パトロール事業）	2,909,000	3,290,000	113.1%	パトロール委員会
	ア.夏季海水浴場における監視・救助活動事業費	1,000,000	1,000,000	100.0%	ボラメンバー交通費5万、学生食事補助30万、警備費65万
	イ.打合せ会議費（パトロール・症例検討会24回、スキルアップ等16回）	549,000	440,000	80.1%	委員会mtg.・課長mtg.・外部機関mtg.等交通費、新歓
	ウ.パトロール関係器材（チューブ、感染予防用品、双眼鏡）、ラッシュ在庫	150,000	670,000	446.7%	チューブ9万、双眼鏡4万、消耗品4万、ラッシュ在庫50万
	エ.夏期2か月宿費、清掃費	320,000	240,000	75.0%	
	オ.夏の納会、忘年会費、MIA・MLA賞	340,000	270,000	79.4%	納会・忘年会25万円、MIAMLA2万円
	カ.講師謝金	0	170,000		PWC6回6万、チーフ8回8万、勉強会3回3万
	キ.PWC、バギー維持費	500,000	450,000	90.0%	維持費：バギー15万円、ジェット30万円
	ク.タワー購入積立	50,000	50,000	100.0%	10年で50万円を予定。2023年度で3年目15万円。
	②水辺の各種スポーツイベントを安全面から支援し振興を図る事業（イベントパトロール事業）	1,410,000	2,056,000	145.8%	イベントパトロール委員会
	ア.追浜トライアスロン	270,000	273,000	101.1%	
	イ.全日本LS選手権	308,000	308,000	100.0%	
	ウ.PWC維持費用（シーバード登録含む）	150,000	350,000	233.3%	シーバード2艇登録費10万円、PWC維持費25万円
	エ.湘南オープンウォータースイム	32,000	27,000	84.4%	
	オ.横浜ボートショウ	140,000	135,000	96.4%	2021年度より事業化
	カ.KLA、東伊豆 PWCレンタル費、南関東予選	0	408,000		
	キ.ビレッジ管理	100,000	100,000	100.0%	10回実施予定
	ク打ち合わせ会議費、練習会等交通費用、IRB競技会遠征費	255,000	315,000	123.5%	10回実施予定、往復交通費25.5万円、遠征費6万
	ケ.技術訓練費用（燃料等）	40,000	40,000	100.0%	ガソリン代1回4,000円×10回
	コ.LWC2024への積立	115,000	100,000		2年目、合計21.5万円
	③ライフセービング活動による水辺の安全、教育事業（ジュニアユース事業）	10,214,300	11,359,200	111.2%	ジュニアユース委員会
	ア.年間ジュニアプログラムの開催事業	2,011,700	2,342,100	116.4%	人件費95.7万円、器材費11万円、交通費・宿泊費
	イ.年間ユースプログラムの開催事業	2,009,800	1,798,800	89.5%	人件費114円、器材費20万円、10周年16万、P指導19万
	ウ.ジュニア版西浜カップ	0	257,500		
	エ.ジュニア合宿	244,800	244,800	100.0%	バス借用なし、イントラ食事宿泊費5万円、10名を予定
	オ.ユース合宿	869,000	869,000	100.0%	バス借用25万×2回（GW合宿・夏合宿の2回）18名
	カ.ジュニア特別活動	846,000	846,000	100.0%	人件費33.6万円、器材費15万円、イントラ器材8万円
	キ.ユース特別活動	3,900,000	4,668,000	119.7%	プールイントラ費用増加、器材費31.8万円
	ク.知的障害者・幼児プログラム	65,000	65,000	100.0%	保険代2万円、Tシャツ1万円
	ケ.藤沢市協働事業（ジュニアLS教室）	268,000	268,000	100.0%	
	④海岸等に関する環境保全活動及び地元地域を繋げる事業（環境イベント事業）	722,500	790,000	109.3%	環境イベント委員会
	ア.イベント事業費（飲食代、食材、消耗品費）	342,500	290,000	84.7%	春・夏・冬のクラブ会、全日本選手権
	イ.クラブイベント交通費、会議費	150,000	150,000	100.0%	ビーチクリーン、オーシャンクリーン、餅つき、クラブ会、全日本、mtg.
	ウ.映像撮影（外部）	0	0		イベントのドローン撮影
	エ.ビーチクリーン用資器材、その他	230,000	350,000	152.2%	バナー新調、砂対策プロアー等、グッズ作成費10万円
	⑤ライフセービングスポーツに関する事業（スポーツ推進事業）	3,160,500	3,520,500	111.4%	スポーツ推進委員会
	ア.競技会へのスタッフ引率者交通費、器材運搬費	507,000	797,000	157.2%	staffの交通費・宿泊費、下田器材搬送10万円、審判員36万円
	イ.西浜合宿経費	13,500	13,500	100.0%	引率者交通費・宿泊費
	ウ.西浜カップ	200,000	200,000	100.0%	
	エ.マスターズ練習会、全体練習会	70,000	70,000	100.0%	プール練習会3万円含む
	オ.チーム種目エントリー費、	150,000	230,000	153.3%	チーム種目エントリー4大会分、IRB選手権8万
	カ.打合せ会議費（6回）、消耗品費、雑費	60,000	410,000	683.3%	めぞんへのラック作成費30万円、証文品5万円
	キ.アクラブ朝練利用料支払い	1,440,000	1,440,000	100.0%	4,000円×30人　12か月分
	ク.アクラブ朝練責任者手当	720,000	360,000	50.0%	
	⑥ライフセービングの資格講習会及び安全指導に関する事業（育成事業）	821,600	788,000	95.9%	育成委員会
	ア.更新講習会	46,000	42,000	91.3%	3回実施予定
	イ.BLS講習会	27,600	27,600	100.0%	
	ウ.IRB講習会	0	30,400		3月開催
	エ.サポーター講習会	6,000	6,000	100.0%	learning 3回実施予定
	オ.WS講習会	18,600	18,600	100.0%	
	カ.BASIC講習会	316,200	316,200	100.0%	2回開催
	キ.アドバンス講習会	147,200	147,200	100.0%	
	ク.打合せ会議費、県外講習会補助金	145,000	145,000	100.0%	12回×10名12万円、ボランティア感謝贈呈品
	ケ.消耗品購入、スタッフグッズ、予備費	65,000	5,000	7.7%	
	コ.指導員資格補助制度	50,000	50,000	100.0%	補助制度（BLSの半額負担）5万円
2	管理費	7,018,050	6,973,600	99.4%	
	管理費	6,618,050	6,573,600	99.3%	
	ア.物品購入費	100,000	100,000	100.0%	*パソコン等*
	イ.事務局人件費	600,000	600,000	100.0%	事務局員2名
	ウ.福利厚生費	856,430	522,241	61.0%	会食費、イベント謝礼お茶提供
	エ.広告宣伝費	0	286,000		**HPのリニューアル費用、夏明けリリース**
	オ.旅費交通費	51,740	52,000	100.5%	合宿引率、コーチング引率、外部打ち合わせ出向等
	カ.通信費	81,402	37,341	45.9%	携帯電話4機、インターネット代、郵送代
	キ.水道光熱費	654,817	813,976	124.3%	殿網水道光熱費月5万円、めぞん5千円
	ク.消耗品費	415,284	100,000	24.1%	*事務用品他*
	ケ.修繕費	140,080	81,300	58.0%	クラブハウス修繕等
	コ.保険料	117,002	64,935	55.5%	
	サ.租税公課	500,000	1,013,800	202.8%	所得税、法人税等 R3年度実績は70,600円
	シ.交際接待費	19,732	0	0.0%	*手土産、祝電・供花等*
	ス.支払家賃	720,000	720,000	100.0%	めぞん201号室（女子宿舎兼事務局）
	セ.減価償却費	1,526,668	1,129,261	74.0%	建物付随設備、器具備品の一部
	ソ.賃借料	81,880	100,000	122.1%	*お名前.COMレンタルサーバー、ドメイン費*
	タ.顧問報酬	385,000	385,000	100.0%	税理士事務所
	チ.事務費	117,459	95,970	81.7%	
	ツ.登録料	60,550	60,000	99.1%	JLA第1種クラブ、KLF正会員
	テ.雑費	190,006	411,776	216.7%	
	その他	400,000	400,000	100.0%	
	ア.グッツ代	200,000	200,000	100.0%	クラブグッツの購入、バスタオル
	イ.サーフボート輸入輸送費	0	0		2018年度予算の輸送費40万円は別枠で取り置く
	ウ.その他（予備費）	200,000	200,000	100.0%	
	単年度費用合計	26,605,950	29,127,300	109.5%	
3	特別予算	350,000	350,000		
	サーフボート積立金	0	0		5年分100万円は別枠で取り置く
	周年記念事業積立金	200,000	200,000		2012年50周年party、2013年度より11年目、計220万円
	2024・2028ワールドマスターズゲームス　海外大会遠征　積立金（特別P）	150,000	150,000		5年目、計75万円
	特別予算費用合計	350,000	350,000		
4	来年度繰越金	24,011,126	25,058,475		
	総費用合計	50,617,076	54,185,775		
	単年度収支差額	**▲ 205,937**	**3,233,283**		

特定非営利活動法人　西浜サーフライフセービングクラブ　通常総会議事録

1　日時　令和５年５月７日　１０時から１１時まで

2　場所　サーフビレッジ多目的ホール　藤沢市鵠沼海岸一丁目１７番３号

3　正会員総数　５５名

4　出席者の数　４０名（うちリモート出席２名、表決委任者２５名）

5　議事録署名人　　和田桂子、早川慶太郎

6　議　案

第１号議案　　令和４年度事業報告　承認に関する件

第２号議案　　令和４年度会計報告　承認に関する件

第３号議案　　令和４年度監査報告に関する件

第４号議案　　令和５年度事業計画　承認に関する件

第５号議案　　令和５年度予算書　承認に関する件

7　議事の経過の概要及び議決の結果

第１号議案　　令和４年度事業報告　承認に関する件

令和４年度事業報告を諮ったところ、満場異議なく承認された。

第２号議案　　令和４年度会計報告　承認に関する件

令和４年度会計報告を諮ったところ、満場異議なく承認された。

第３号議案　　令和４年度監査報告に関する件

令和４年度監査報告を諮ったところ、満場異議なく承認された。

第４号議案　　令和５年度事業計画　承認に関する件

令和５年度事業計画を諮ったところ、満場異議なく承認された。

第５号議案　　令和５年度予算書　承認に関する件

令和５年度予算書を諮ったところ、満場異議なく承認された。

令和５年５月７日

特定非営利活動法人　西浜サーフライフセービングクラブ　通常総会において

議長　　篠　　岳瑠　　印

議事録署名人　　和田　桂子　　印

議事録署名人　　早川慶太郎　　印

2023 年 5 月 7 日

2022 年度第 21 回通常総会結果報告

特定非営利活動法人
西浜サーフライフセービングクラブ
理事長　篠 岳瑠

拝啓 初夏の頃、クラブ会員の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素より当クラブ事業に格別のご理解とお力添えをいただき、厚く御礼を申し上げます。

5 月 7 日(日)にサーフビレッジ多目的ホールにて通常総会を開催いたしました。正会員 55 名(2023 年 3 月 31 日現在)のうち、出席者 15 名(リモート出席 2 名含む)、委任状 25 名 計 40 名となり、定款第 27 条、定足数の条件である、正会員半数を満たしましたので成立となりました。昨年度に引き続き WEB 会議を活用して行っています。その場におきまして、第 1 号から第 5 号議案に承認をいただきました。また、令和 5 年度会計について適正かつ公正に処理されているとの監事報告がございましたので、ここに報告をいたします。

敬具

記

本通常総会における主な報告内容は以下のとおりです。

1、 事業報告 2022 年度はコロナの感染が完全には収束しないまま 3 度目の夏を迎えました。パトロール事業においては例年に近い形での夏季海水浴場の開設の運びとなり、湘南の海は例年通りの賑わいを取り戻しました。監視体制としては、コロナ期間を経て確立した事業モデル(Swim between flags)を継承し、マリンスポーツ自粛エリアにライフセーバーを配置して活動を行いました。

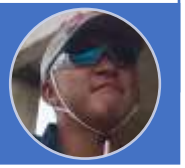
2、 会計報告、2022 年度は約 239 万円の正味財産の減少での決算となりましたが、主な要因は租税公課の大幅な増加、人件費や交通費などの増加によるものであり、各委員会の活動が活発化している事を示しております。2023 年度の単年度予算案は約 323 万円の黒字で承認されました。60 周年を迎える本年度においても、人材育成への投資を最重要課題として、伝統を継承しながらも未来を切り開く人材を輩出するライフセービングクラブを目指して活動をして参ります。

以上

「サーフビレッジでの通常総会の様子」

Lifesaver of the year NISHIHAMA 2022 ノミネート

パトロール委員会



・**橋本　敦（はしもと　あつし）**

・ジュニア保護者からライフセービングのキャリアをはじめ、今ではチーフを指導するアドバンスドライフセーバーとして活躍。50歳を越えた今でも現場に立ち続けている。

・委員会ではコミュニケーションサポート課の課長として、クラブ員のコミュニケーションの支援のみならず、今年度よりハラスメント窓口としての悩み相談室を立ち上げ、不安定なパトロール現場における心理的安全性を担保する試み始めた。

・「げんぱぱ」の現場・委員会での活躍は全てのパトロールメンバーに大きな刺激を与え、コミュニティを繋げる大きな役割を果たしている。

・プライベートにおいてもOWSコミュニティへの安全啓発や自身が務めるスイミングクラブでのBLS講習会の実現を果たすなど、常に挑戦し続ける橋本敦さんは西浜SLSCのオブザイヤーにふさわしいと考え、ノミネート。

イベントパトロール委員会

・**金川　もも（かながわ　もも）**

・イベントパトロール委員会の活動への献身的に参加し、練習会などの際は、他のクラブ員と架け橋となり積極的に事業を推進。誰よりライフセービングを楽しんでる姿は同世代の模範になっている。

ジュニアユース委員会

・**浜地　妃斗美（はまじ　ひとみ）**

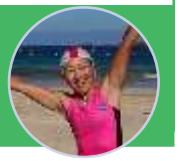
・保護者という立場からインストラクターになり、定期プログラム、特活など様々な活動に積極的に参加した。さらに、サポーター講習会を実施し、保護者のクラブへの理解を深めてもらえるように尽力した。

環境イベント

・**志賀　海征（しが　かいせい）**

・ライフセービングという活動を環境イベントという立場から発展に貢献しようと努力している。西浜のクラブ内だけでなく、クラブ外に発信を行うことで、コミュニティの輪を広げ、ビーチクリーン活動を若人に広めた実績がある。よって、ノミネートとする。

スポーツ推進委員会



・**鈴木　美穂（すずき　みほ）**

・マスターズメンバーとして率先して競技大会や、クラブの練習会に参加し、ライフセービングスポーツを生涯を通して楽しむ姿をクラブ員に魅せてくれた。クラブの目指す生涯スポーツとしてライフセービングスポーツを続ける姿は、他クラブ員の手本となっている。

育成委員会

・**風間　隆宏（かざまたかひろ）**

・JLAアカデミー本部長として全国のライフセービング資格取得のために尽力した。勇退し今までのライフセービング業界発展への感謝と、再び風間さんと西浜事業に打ち込める喜びと、西浜おかえりなさいの意味を込めてノミネートする。

事務局

・**和田　桂子（わだ　けいこ）**

・2019年度より会員管理を担当。ご自身の本業や他ボランティアスタッフの経験を活かされ、事務局全体の事務遂行能力が格段にアップした。

・地道な和田さんの活動がクラブの屋台骨。この方なくして、クラブは成立できない。

・日頃の感謝をこめてノミネートする。

2022年度に寄付をいただいた皆様

昨年度、西浜SLSCに寄付をいただいた皆様にクラブ員一同で感謝の意を表したく、お名前を掲載させて頂きます。

複数口の寄付をいただいた方

秋田　弘樹　様
今井　柚歩　様
志賀　孝一　様
田澤　俊樹　様
石田　秀樹　様
上野　義洋　様
篠原　航　様
田畑　梨紗　様
伊東　秀崇　様
小野　正文　様
多賀　秀朗　様

寄付をいただいた方

相澤　重男　様
相澤　庄太　様
相澤　千春　様
青柳　真人　様
荒井　閑　様
荒井　洋佑　様
飯塚　剛志　様
池戸　智美　様
石井　尚之　様
石川　修平　様
泉田　昌美　様
伊藤　健太郎　様
稲葉　博久　様
井原　洋平　様
今井　隆二　様
入谷　拓哉　様
植木　将人　様
上野　凌　様
臼井　茂　様
臼井　隆司　様
易　礼美　様
大谷　健将　様
小川　登　様
小倉　浩満　様
小澤　知史　様
小田　丈勧　様
小田切　伸矢　様
小野　正太朗　様
風間　隆宏　様
片平 悠理亜 ﾒﾘｯｻ　様
上條　胤臣　様
河西　亮佑　様
菅野　靖　様
北矢　宗志　様
後関　裕輔　様
齋藤　千恵　様
坂本　千佳子　様
坂本　靖　様
佐藤　美智代　様
澤田　喜生　様
志賀　海征　様
篠　郁蘭　様
篠　岳瑠　様
篠原　正貴　様
城間　盛隆　様
須本　晃　様
高橋　かのん　様
高橋　尚吾　様
武田　昭仁　様
田勢　美貴　様
田中　裕史　様
津田　稔　様
天川　仁　様
豊間根　真一　様
中島　章　様
奈良部　元春　様
萩原　隆次郎　様
橋本　淳太郎　様
服部　洋平　様
花岡　香那　様
浜地　憲太郎　様
早川　慶太郎　様
堀口　敬洋　様
本郷　多久也　様
松田　祐二　様
三浦　秀樹　様
見角　麻理子　様
宮野　実　様
深山　元良　様
村川　新　様
山切　敏郎　様
山崎　卓己　様
山﨑　洋　様
ラム　里子　様
和田　桂子　様

昨年度の寄付使用実績

2022年度は80名を超える皆様より**387,000円**の寄付をいただきました。そのご厚志の使用実績としまして、

・夏パトロール学生食事補助　200,350円　（コロナ禍で昨年度も自炊が出来ませんでした。外部レストランでの納会参加費、入浴代、全日本選手権打ち上げ費学生分に使用しました。）
・サーフボート新艇の積立金　0円　（海浜環境にあった艇の運用方法について再考中です。）
・クラブハウス維持管理　1,020,000円（レスキューボードラック新設、屋内外温水シャワー、クラブハウス光熱費）

合計**1,220,350円**の一部として使用しました。

西浜SLSC 60周年にあたり

西浜サーフライフセービングクラブは、2023年をもちまして無事に60周年を迎えました。今年11月25日に湘南鎌倉クリスタルホテルにて記念式典を開催予定です。詳細は、追ってクラブ関係者の皆さま方にご案内させていただきます。60年に渡るクラブの歴史を共有できる場に出来ればと思っておりますので、皆さまのご参加をお待ちしています。
西浜サーフライフセービングクラブ　理事長　篠岳瑠

寄付制度の目的

①夏のパトロールにおける学生食事補助 等

7月末より学生が泊まり込む際の、自炊する食材費に使っています。

②サーフボート等の維持管理 等

サーフボートの新艇購入は一旦断念し、クラブ員が共に汗を流せる新たな方策を検討中です。

③クラブハウスの維持管理

2022年度、階段上部分に新たなレスキューボード用の艇庫を設置しました。

④ジュニアユースプログラムのシャワー等の水道光熱費

2020年度より、ジュニアユースプログラムの一部にも使用していきます。子供たちはクラブの宝です。